

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 静岡県立沼津商業高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年（182人） 本来ならば全校対象行事だが、新型コロナ対策として、1つの学年とし、保護者等の参加は無し。
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピアンに接し、直接話を聞くことにより、オリンピック・パラリンピックについての理解を深めるとともに、共生社会の実現に向けた基本的な考え方を身につける。
5 取組内容	スライドを用いた講演会。藤枝市出身で、サッカーに熱中する中学校3年生の時に、病気による足の切断を決断したことや、そこから悩みながら陸上のアスリートになっていく過程の心の変化などを話された。実技はないが、長ズボンから半ズボンになり、義足を見せながら話をした。
6 主な成果	自分の人生は自分で決めることを強く訴える内容の講演であり、進路決定を目前に控えた高校3年生にとって、大変有意義な講演会であった。 講演後の質問の場面では、時間いっぱいまで4人もの生徒が次々と質問し、生徒の心にたいへん響いたと感じられた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	新型コロナ対策として、体育館に間隔を広くとって着席した。
8 主な課題等	特になし
9 来年度以降の実施予定	未定